

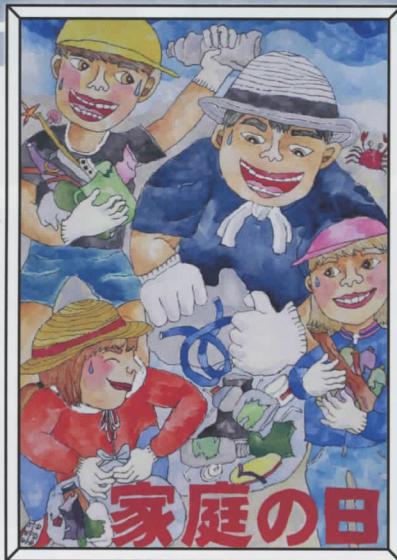
伸びよう 伸ばそう ひむかの青少年

75号

令和6年2月
発行

「家庭の日」「少年の日」ポスターコンクール
最優秀賞受賞作品

日南市立油津小学校 6年
山田 桔平 さん



日向市立富島中学校 2年
馬原 唯歌 さん

「家庭の日」「少年の日」ポスターコンクール入賞者

賞	氏名	学校名	学年	賞	氏名	学校名	学年
家庭の日	最優秀賞 山田 桔平	日南市立油津小学校	6	少年の日	太田 ふゆ	宮崎市立住吉中学校	3
	ハートリー 未来	宮崎市立田野小学校	3		清 悠愛	県立佐土原高等学校	1
	信楽 芳那子	鵬翔中学校	3		甲斐 笑里	県立高千穂高等学校	1
	坂元 花音	県立佐土原高等学校	2		財部 心花	県立佐土原高等学校	2
	三樹 佳歩	宮崎市立大宮小学校	1		八田 りんご	県立佐土原高等学校	2
	出先 まき	延岡市立土々呂小学校	1		馬原 唯歌	日向市立富島中学校	2
	鹿嶋 幸恵	国富町立本庄小学校	2		山田 迪奈	日南市立飫肥小学校	2
	松元 春佳	宮崎市立大宮小学校	3		ひだか みこと	日南市立吾田中学校	2
	牧野 心結	宮崎市立那珂小学校	4		宮崎 心琴	県立佐土原高等学校	2
	山口 凌空	延岡市立土々呂小学校	4		上村 ゆずき	都城市立明和小学校	1
優良賞	倉果乃子	宮崎市立櫻北小学校	5		中村 日鞠	宮崎市立大淀小学校	3
	浦田 小由里	延岡市立東小学校	6		山口 おん	西都市立三財小学校	5
	坂本 暖乃	宮崎市立生目中学校	1		ひだか ことね	日南市立飫肥中学校	3
	若松 空音	宮崎市立生目中学校	1		黒木 真絢	日向市立富島中学校	3
	山口 鈴依	日南市立吾田中学校	2		平野るあ	県立佐土原高等学校	1

「はぐくむ」は宮崎県青少年育成県民会議の広報紙です。



青少年の主張宮崎県大会

主催/宮崎県青少年育成県民会議・国立青少年教育振興機構 共催/宮崎県・宮崎県教育委員会



本年度の「青少年の主張宮崎県大会」は、新型コロナウイルスに加えインフルエンザの感染防止のため、入場者を発表者の関係者に限定して8月3日（木）に開催しました。作文応募総数は、少年の部（中学生）993点、青年の部（高校生）254点であり、作文審査を経た写真の13名の皆さんによる発表は、日々の生活の中で考えたことや、将来の夢、社会問題など個性あふれる内容で、みずみずしい感性で生き生きとした主張が聞かれました。

なお、「少年の主張全国大会」は、11月12日に東京で開催され、少年の部で最優秀賞を受賞した横山恵都さん（宮崎西高等学校附属中学校2年）が参加しました。

次年度も、中学生、高校生の皆さんの多くの主張作文の応募を期待しています。

少年の部

最優秀賞	横山 恵都	宮崎西高等学校附属中学校 2年	自分らしく生きる
優秀賞	佐藤 弘空	綾町立綾中学校 3年	戦争を知る
	茂田 空庵	国富町立八代中学校 3年	今の自然を守るために
優良賞	柿本 花珠	宮崎市立赤江中学校 2年	今日は何が食べられるのか
	椎葉 知光	椎葉村立椎葉中学校 2年	これから椎葉村のために
	小島 花珠	宮崎市立生目南中学校 2年	好きなことを通して考えたこと
	寺脇 もか	国富町立本庄中学校 3年	魔法道具スマホと人間
	河野 もほ穂	川南町立唐瀬原中学校 3年	魔法の言葉
	今別府 楓	高原町立高原中学校 2年	後悔しない生き方
	井野元 大聖	鵬翔中学校 3年	知らない世界を知る日
	大凜 桜		

青年の部

最優秀賞	内田 菜月	宮崎学園高等学校 3年	「私」に会いに
優秀賞	岩本 つぐ夢	高鍋農業高等学校 2年	農業で生きていけるふるさとをめざして
優良賞	ウォーカーリオ	福島高等学校 1年	今を生きる者として
参考	興梠 咲綾	宮崎大宮高等学校 1年	「子どもが輝く未来のために」

「知事に伝えよう私の思い」

～中学生・高校生が思いを知事に伝えました～



知事から発表に対する質問と感想をいただきました

「青少年の主張宮崎県大会」において、少年の部・青年の部それぞれの最優秀賞・優秀賞を受賞した4名の皆さんが出でて、「知事に伝えよう 私の思い」を、県庁本館講堂で実施しました。

緊張の中にも和やかな雰囲気で、一人一人が自分の思いをしっかりと知事にお伝えし、また、知事からの質問に答えたり、知事のご感想をお聞きしたりしました。

自分の思いを知事に直接発表できること、また知事と対話ができたことは貴重な体験であり、これからもずっと心に残る思い出になったことでしょう。



知事と記念写真



令和5年度

宮崎県メディア安全指導員養成講座

・～6月24日スキルアップ研修講座～・



ChatGPTについて、活用の現状や問題点等をもとに、児童生徒に対し、どのような活用法が適切かについて、グループで討議を行い、意見交換を行いました。



デジタル社会の中でのあふれる情報に対し、児童生徒の発達の段階に応じてどのような力が必要かについて、グループで討議し、お互いに発表し合い、情報の共有化を図りました。

・～10月15日スキルアップ研修講座～・



子ども家庭庁の創設に伴い、子どもの権利の視点から学校や家庭で作る「メディアを利用する際の約束」「メディアの弊害を伝えること」「保護者に伝えること」について、グループで討議を行い、該当する子どもの権利条約の条文も含めて模造紙にまとめました。



「乳幼児の親と子どもの現実、ここが気になる」というテーマでパネルディスカッションを行いました。保育や子育て支援に携わる4人のパネラーの発表をもとに、メディアを取り巻く乳幼児の親と子どもの現状と課題について意見交換を行い、参加者全員で感想を発表しました。

宮崎県青少年育成県民会議では、乳幼児や成長期の青少年に与えるメディアの影響、そしてその対処法などを啓発する「宮崎県メディア安全指導員」を県内全域に派遣しています。

子どものメディア（テレビ・スマートフォン・ゲーム機・インターネット等）との接触の現状や問題点、具体的な対応策などを、各小・中・高・特別支援学校での授業や学校保健委員会、幼・保・学校の参観日やPTA家庭教育学級、公民館や行政機関の研修等で講話を行います。詳しくは、宮崎県庁または宮崎県青少年育成県民会議のホームページから「メディア安全指導員」と検索するか、右側のQRコードからアクセスしてください。



青少年育成・支援地域活動 モデル事業

青少年育成・支援地域活動モデル事業とはどのような事業でしょうか

青少年の健全育成のため家庭や地域の果たす役割はきわめて大きく、公益社団法人宮崎県青少年育成県民会議では、豊かな人間関係に支えられた地域づくり・家庭づくりと、青少年非行防止のための環境浄化を重点目標として取り組んでいます。

その普及促進を図るため、青少年育成・支援地域活動モデル事業において、モデル団体を指定するとともに活動助成金を交付し、地域等の連帯を通じて青少年の健全育成活動を推進し、その効果を他の地域にも波及させることを目的として実施する事業です。

モデル事業の種類は、以下の3種類としています。

- (1)県民会議が提唱している「家族がふれあう5つの共感活動」（共遊・共食・共話・共汗・共働）をテーマとした体験活動等を地域において促進する事業
- (2)地域の自然や歴史、文化、職業等を学ぶ体験活動等をとおして、地域への誇りや愛着を高める事業
- (3)青少年が自分の将来について考えることを地域で支援・促進する事業

本年度指定しているモデル3団体の活動の様子

沖水地区青少年育成協議会 (都城市)



地域に親しみのあるえびの高原周辺でのトレッキングやウォーキングなどの親子体験活動

坂元地域活動クラブ (小林市)



地区内の親子や高齢者の方々によるサツマイモの苗植えや収穫、調理、ハロウィンイベントなどを行う世代間交流活動

向江町区 (日向市)



タマネギやサツマイモなどの野菜の種まきや苗植え、草取り、収穫を地域と家庭が一緒に行う世代間交流活動

「青少年の主張宮崎県大会」～作文募集～

1 募集対象・期間

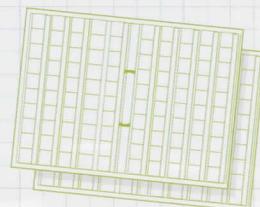
中・高・特別支援学校の生徒を対象に主張作文の募集を5月～6月に行います。詳細は各学校の先生にお尋ねください。ふるってご応募ください！！少年の部(中学生)の最優秀賞受賞者は、全国大会(東京都)に派遣(発表または参加)されます。

2 開催日時

令和6年8月6日(火) 13:00～

3 開催場所

宮崎市民プラザ・オルブライトホール



「家庭の日」「少年の日」ポスターコンクール作品募集

1 募集時期

令和6年 夏休み明けの9月(募集案内は5月)

2 募集対象

小・中・高・特別支援学校の児童生徒

※ 入賞者には図書カード、応募者全員に参加賞を進呈

※ 詳細は各学校の先生にお尋ねください。



会員募集

宮崎県青少年育成県民会議は、官民一体となって、本県の青少年育成活動に取り組む民間団体です。関係行政機関や民間企業の御支援をいただきながら、「地域で青少年をはぐくむ」機運を高めて参りますので、御理解、御協力をお願ひいたします。

皆様の御支援と
御協力を！

個人会費 年間 1,000円

団体会費 年間 3,000円

賛助会費 年間 10,000円
(1口)《何口でも大丈夫です》